

ペット供養

～大切な家族の為に私ができる最後のこと～

もしものときの
安心ツール
ケアマネジャー様
お役立ち情報紙

あんしる新聞

Vol.19

【ペットの供養とは】

近年、ペットを「家族の一員」として供養する方が増えています。昔は自宅の庭に埋葬することが多かったですが、今は火葬や納骨など、人と同じように供養する方法も一般的になっています。

供養には決まりが無く、火葬・葬儀・納骨などをどこまで行うかは家族の気持ち次第です。大切なのは「ありがとう」の気持ちを込めて送ることです。

【亡くなってからの一般的な流れ】

ペットが亡くなった後、慌てずに次の順番で対応しましょう。

①体をきれいに整える

タオルで拭き、目を閉ざし、体制を整え、涼しい場所で安置。ペットシートや保冷剤を使うと良いでしょう。

②火葬を行う

合同火葬・個別火葬・立ち合い火葬など。好きなご飯やおやつ・玩具・メッセージカード・写真・花など一緒に入れる場合もあります。

③納骨・埋葬

自宅・霊園・散骨・納骨堂など。粉骨にしペーパメントなどに入れ、身に着けることも出来ます。ペット専用仏具もあります。

※火葬の費用はペットの大きさや方法によって異なりますが、1万円～7万円ほどが目安です。

【主な供養方法】

どの方法にもメリット・デメリットがあります。「どこで供養したいか」「どのくらい近くに感じていたいか」を考えましょう。

手元供養

遺骨を骨壺やアクセサリなどに納め、自宅で供養。

個別墓

専用のお墓を建てる方法。費用はやや高め。

合同墓

他のペットと一緒に埋葬。費用が比較的安い。

納骨堂

屋内でお参りができ、永代供養付きの施設もある。ヒトと一緒に眠ることも出来る。

散骨

遺骨を自然に還す方法。管理費がかからない。

 **あんしる**
介護施設・老人ホーム紹介

〒060-0807
札幌市北区北7条西1丁目2-6
NCO札幌16階
☎ : 0120-136-777
受付時間 9 : 30-17 : 30
✉ : info@anshiru.jp
HP : https://anshiru.jp/

【納骨堂でらうす】

コープの家族葬ウィズハウスでは、「ペットと一緒に眠れる納骨堂でらうす」を委託運営しています。陽の光が差し込む明るい室内で、天候を気にせずお参りができます。デジタル祭壇でいつでもペットの姿を偲ぶことができ、「ペットも家族」という方向にすすめます。

←家族(ヒト)と一緒に納骨

デジタル祭壇→

←あんしる
Instagram



 **コープの家族葬
ウィズハウス**

ホームページ→



今回はペットの供養についてご紹介しました。私は愛犬を亡くした時、立ち合い火葬をしました。花を手向け、感謝と別れを告げ、火葬への扉が閉まる時は顔をぐしゃぐしゃにして泣いていました。火葬中は出会った頃から最後の時までの思い出を振り返りました。骨を拾う頃には心は軽く、晴れやかな顔で雑談をしているほど。そうして私たちなりのお見送りができました。

ペットの供養に正解はありません。自宅で静かに見送るのも、霊園や納骨堂で供養するのも、どの形にも【愛情】があります。大切なのは「ありがとう」「またね」という気持ちで送ることが、何よりの供養になると思います。思い出を語り合うことも、立派な供養のひとつです。その時が来た際は、家族の想いに合った形で、心が少しでも穏やかになれる方法を選んであげてください。

作者です。いつもありがとうございます！